



大分県は大型連休中（4月29日～5月6日）の観光動向に関する調査結果を公表しました。県内は行楽地などへの人出が昨年同期と比べて9割以上減っています。

①大型連休中の県内の人出が激減したのはなぜでしょう？

.....新型コロナウイルスの感染拡大で外出自粛が呼び掛けられた中、県民をはじめ全国の人が不要不急な移動を控え、各施設も自主的に休業したから。.....

②観光施設、宿泊施設、大分空港、フェリーの中で、昨年に比べて一番減少率が高かったのは？ また、その減少率は何%ですか？

.....観光施設で99.9%の減。.....

③広瀬勝貞知事は今後、どんなことに力を入れて取り組むとしていますか？

.....感染を抑え込む努力と社会経済活動の両立を図ること。.....

④新型コロナウイルスが終息したら、あなたはどんな所に観光に行ってみたいですか？

.....家族や友達にも聞いてみよう。.....



新型コロナ

宿泊施設は調査対象46施設のうち、32施設が休業した。宿泊者は2037人で97.3%減った。観光施設は主要な30カ所では臼杵市仏(臼杵市)のみが営業し、入場者は429人。昨年は「べっふ地獄めぐり」(別府市)やアフリカンサファリ(宇佐市安心院町)などが人気を集めた。計59万8573人だった。帰省など県境をまたぐ移動が激減した。

(加納慶、渡辺久典)

大分県は7日、大型連休中(4月29日～5月6日)の観光動向に関する調査結果を公表した。県内は行楽地などへの人出が昨年同期と比べて9割以上減った。新型コロナウイルスの感染拡大防止で外出自粛が呼び掛けられた中、県民をはじめ全国の人が不要不急な移動を控え、各施設も自主的に休業した効果があったとみられる。

GWの人出9割超減

県の観光動向調査 外出自粛で

動が減り、交通機関の利用者も激減した。フェリー(7航路)による県内上陸者は3457人で約6万人の減。空路は東京、大阪、名古屋の各方面合わせて1日6往復に減便され、大分空港で降りた客数は874人だった。JR九州は2～6日の特急を全て運休した。